

国土学シラバス

工学部・社会基盤学科（主として学部3年生）

2011 年度 冬学期 月曜2時限(10:15-11:45)

工学部1号館1階 14 号教室

2011 年 10 月 社会基盤学専攻 家田 仁

1. 講義の趣旨

「国土」とは、人が社会を作り上げ、自然と折り合いをつけながら暮らす、そういう営みを行う空間的広がりをもった広域的な「場」である。そうした国土の上では、私的な生活の安定と利益の追求を目指した諸活動が行われるのみならず、政府など何らかの集団的意思をもった強力な主体が様々な意図にもとづいて、古来、種々の活動を行ってきた。一国が何らかの政策的意図と必要性から、その領域内の資源（例えば土地）を活用する方法などについて、国民や行政機関に指針を与えあるいは制約誘導することめざす「国土計画」や「国土政策」はその一つの例である。しかし、少子高齢化・人口減少や国際化の進展に伴って、「国土」の置かれた文脈や念頭に置くべき「国土」の地理的範囲も急速に変化しつつある。今、必要なことは、東日本大震災をはじめとする巨大災害も踏まえた国土を介した自然と人間との間のあるべき関係性も含めて、「国土の整備と経営」に関わるより基礎的な課題について素直に向き合って考えることであろう。すなわち、人間が、土地、自然、水などの国土資源とどのように向き合い、どのように活用してきたのか？その中ではどのような矛盾が生じ、そしてどのように克服しようとしてきたのか？そもそも、国土とは意図的に「造る」ものなのか、市場的に「できる」ものなのか？そもそも、国土とはどんな範囲をいうのか？といった幅広な諸論点である。

本講義は、家田ら当社会基盤学専攻の教員や部外の講師による講義とあわせて、部外の学生グループによるケーススタディ発表会を行い、上記の論点を通じて「国土」を理解する。

2. スケジュールと内容

第一部 国土と人の営みの複眼的理解

- 1) 10/17 国土を見る視点/ 国土をつなぐ～交通ネットワークと国土（家田仁教授）
- 2) 10/24 国土を守る～国土の保全と防災：特に巨大津波災害を踏まえて（佐藤慎司教授）
- 3) 10/31 国土を造る～関東平野はどのようにして造られてきたのか？（知花武佳准教授）
- 4) 11/7 撤退の農村計画～限界集落と人口減少時代の農業と農村（林直樹氏・横浜国立大学大学院環境情報研究院・農学博士）
- 5) 11/14 持続可能な森林経営と国土（白石則彦教授・森林科学専攻）
- 6) 11/21 日本の国土と国土経営を相対視する（家田仁教授）
（！この日に、学生グループ発表のテーマ選択と班分けを行う！）

第二部 国土の分析と理解の方法論

- 7) 12/5 地域の動態と土地利用を分析する（布施孝志准教授）
- 8) 12/12 地域の経済構造を探る～産業連関分析と地域経済分析（加藤浩徳准教授）
- 9) 12/19 地域の「均衡・不均衡」を測る（志摩憲寿助教）

第三部 ケーススタディで学ぶ国土学～学生グループ発表会

* 毎回3班発表、フロアを含めた議論の後、家田教授が総合的に解説する。

10) 1/10 第1回 (詳細は別途) (火→月の振替日)

11) 1/16 第2回 (詳細は別途)

12) 1/23 第3回 (詳細は別途)

13) 1/30 第4回 (詳細は別途)

(!この日に(最終試験に替わる)最終レポート課題を出題する!)

3. 成績評価

1) 毎回出欠をとる。

2) 試験は行わない。替わりに最終レポート課題を出題する。

3) 第一部の6回の講義から2回分を選びレポート作成。レポートの課題は、講師から指示がある場合を除き、『当該講義を踏まえて国土について自分が考えること』とする。800字～1200字程度。2回分ともに 12/5の講義時に提出。

4) 第二部の3回の講義で出題される課題の中から、1題を選択しレポート作成。1/10の講義時に提出。

5) グループ発表: グループ発表の質と各人の貢献度を評価する。

5) 配点は、グループ発表(30点)+レポート(15点×計3回)+最終レポート(25点)とする。

50点以上を合格、上位30%を目安に「優」とする。

4. 参考図書(別途、講義中にも紹介する)

「撤退の農村計画 一過疎地域からはじまる戦略的再編一」(林直樹・齋藤晋編著)学芸出版社、2010

「農業再建」(生源寺眞一)岩波書店、2008。

「農業がわかると、社会のしくみが見えてくる」(生源寺眞一)家の光協会、2010

水の世紀(村上雅博) 日本経済新聞社

変革と水の21世紀(21世紀の社会システム, 国土管理のあり方に関する研究会)山海堂

人口現象下の社会基本整備(丹保憲仁他) 土木学会

塩野七生「ローマ人の物語・第10巻～すべての道はローマに通ず」新潮文庫、2006

森地茂・家田仁他「国土の未来」日本経済新聞社(2005)

森知茂他「人口減少時代の国土ビジョンー新しい国のかたち「二層の広域圏」」日本経済新聞社(2005)

高橋裕「都市と水」岩波新書(1988)

高橋裕「地球の水が危ない」岩波新書(2003)

高橋裕「河川を愛するということ」山海堂(2004)

竹内良夫「港を作る」(新潮選書)

下河辺敦「戦後国土計画への証言」日本経済評論社(1994)

本間義人「国土計画の思想」日本経済評論社、1992

本間義人「国土計画を考える」中公新書、1992

幸田文「崩れ」講談社文庫、1992

松浦茂樹「戦前の国土整備政策」日本経済評論社、2000

松谷・藤生「人口減少社会の設計」中公新書、2002

丹保「人口減少化の社会資本整備」土木学会、2002

市川「首都圏自治体の攻防～分散的政策の現実と展望～」ぎょうせい、2001

中俣「国土空間と地域社会」朝倉書店、2004

(アンダーラインは文庫や新書ですぐに読める)